

# \*\*\* 「トルコ 10 日間の旅」 \*\*\* 2012・1・30～2・8

N o b o r u ・ T a k a y a 旅行記

トルコへ10日間の旅をしました。トルコの国土は日本のほぼ2倍です。人口は7000万人  
イスタンブールは1400万人、首都のアンカラは500万人、産業は自動車部品製造、日本のトヨタ、ホンダ、など  
自動車メーカーが進出し現地生産している。その部品は現地調達している。

トルコ絨毯、革製品、農産物の輸出（小麦、綿、みかん、ブドウなど果物・羊の放牧）

農地が広い日本の土地では太刀打ちできそうもない。イスタンブールは33年ぶりの大雪で道路は事故やスリップの車で  
大渋滞だった。我々より1日後にイスタンブールの空港に着陸するトルコ航空機は1時間30分上空を旋回しやっと着陸、  
乗客が空港を出たのは予定より6時間後だったとのこと。1日早くて運が良かった。1トルコリラは43円ぐらいだった。  
ミネラルウォーター1本が1トルコリラ、レストランでは3トルコリラだった。ビールはグラス1杯が10トルコリラぐ  
らいだ。トルコはイスラム教のモスクが多いが政教分離で女性も普通の服装をしている。

女性も参政権があり、他のイスラム圏とは異なっていた。

昔し和歌山県沖で遭難したトルコの船員を日本人が救助したことが、今でも教科書に載っていて日本人には  
特に親しく接してくれる。「こんにちは、ありがとう」など子どもたちも親しく話してくる。

## \*第1日\*

関西国際空港発～空路、エミレーツ航空にてドバイへ

飛行時間・関空～ドバイ \*\*\*\*\* 11時間05分

・ドバイ～イスタンブール\*\*\* 4時間50分

時差・日本/ドバイ -5時間 日本/トルコ -7時間

\*第1日～機中泊～

## \*第2日\*

ドバイ着（アラブ首長国連邦）5時45分着・・・ドバイ観光



ドバイ市内はオイルマネーで砂漠にすごいビルが建っている。

砂漠で水がないので、灌漑設備が完備している。どんな庭木にも草花にも灌水している。



ドバイの世界一高い建物と超高級ホテル米国や日本の有名人が泊まる。1泊何十万円から何百万円というもの。

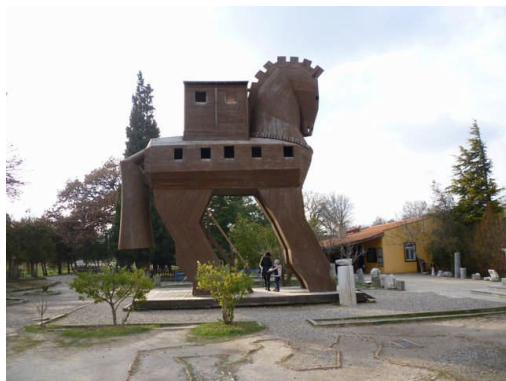
#### 11時05分ドバイ発～イスタンブール着・・・(東洋と西洋が交わる文明の交差点)

- ・イスタンブール歴史地域観光　・地元住民御用達の市場エジプシャンバザール
- ・金角湾に架かる可動橋—ガラタ橋　　・華麗な建築物のリュステムパシャモスク
- ・夕食——ドケルケパブ

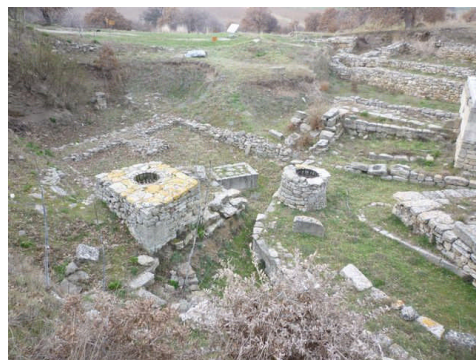
**\*第2日～イスタンブール泊～**

#### **\*第3日\***——イスタンブール～専用バス～～ダーダネルス海峡をフェリーで渡りトロイ戦争の舞台、トロイへ

- ・トロイ—ホメロスの叙事詩「イーリアス」に描かれるも伝説とされてきたが、  
シュリーマンの情熱によって発掘された。——世界遺産、トロイの古代遺跡観光——
- ・観光後、エーゲ海沿いのリゾート　アイワルクへ
- ・昼食は魚料理



観光用のトロイの木馬



トロイの遺跡——発掘はまだまだ何十年かかるかわからないとのこと。

・イスタンブールの港

ちょっと派手なイスタンブールのバスであった。市内観光のバスである。

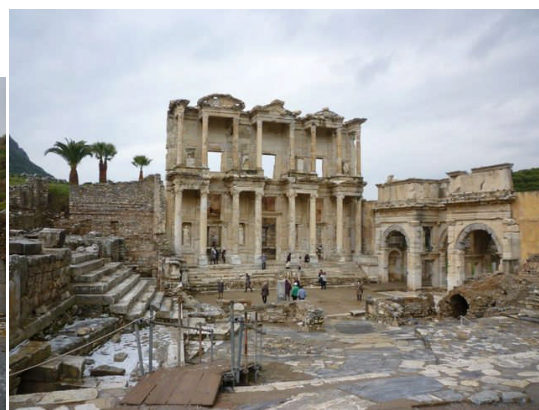
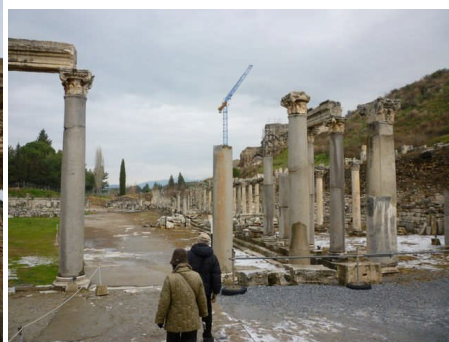
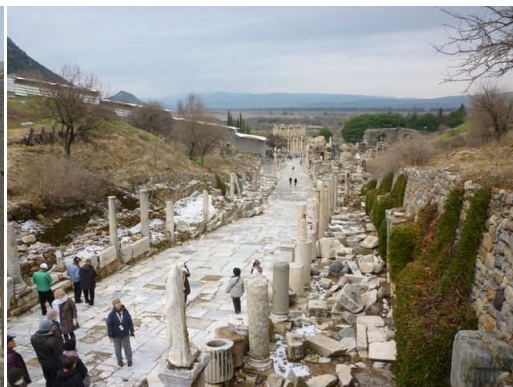




\*第3日～アイワルク泊～

## \*第4日\*

～アイワルク から専用バスで エフェesosへ  
世界的に見ても最大級の古代遺跡 エフェesos観光



- 古代世界の七不思議のひとつに数えられるーアルテミス神殿跡
- 昼食チキンケパパー革製品の店で買い物
- その後、白亜の石灰棚で有名なパムツカレ へ

\*第4日～パムツカレ泊～



## \*第5日\*——パムッカレ～専用バスで

- ・青白く光る温泉水が美しい 世界遺産パムッカレ観光  
足をつけることができる白い不思議な世界—石灰棚



ローマ帝国の温泉保養地、ヒエラポリス遺跡

あのクレオパトラが保養と美容で泳いだプールだ。

- ・観光後、ルーム・セルジューク朝時代の首都 コンヤ へ途中、昼食にトルコ風ピザ
- ・コンヤ観光

イスラムの預言者ムハンマドのあごひげが納められた箱がある メブラーナ博物館、カラタイ神学校など見学



10年ぶりの大雪で山や田畑、街も雪化粧であった。

トルコの美人アナウンサーです。

\*第5日～コンヤ泊～

## \*第6日\*

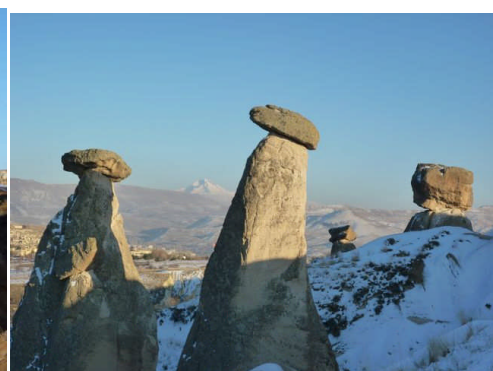
専用バスでキノコ形の奇岩群で有名な カップパドキア へ

途中、スルタンハンのキャラバンサライ（隊商宿）に立ち寄る。カップパドキア到着後、洞窟レストランで昼食

- ・トルコ中部—世界遺産④アナトリア高原の中心に広がる大奇岩地帯、
- ・カイマクル地下都市 ・3姉妹の岩 ・ラクダ岩 ・トルコ石のお店で買い物



ラクダ岩



3姉妹岩



カップパドキア全景





カッパドキアの気球観光



カッパドキアで大の字



パンフレットに載る奇岩



・ギョレメ野外博物館一洞窟で生活していた



カッパドキアの奇岩と本物のラクダ

\*第6日～カッパドキア泊～

## \*第7日\*

～カッパドキア観光 ・ウチヒサール ・ゼルベ ・パシャバー など見学～



トルコ衣装で夫婦円満



トルコの土産物店



のびーるアイス、おいしかった

～トルコ絨毯のお店へ ～～そしてトルコの首都アンカラ ～～

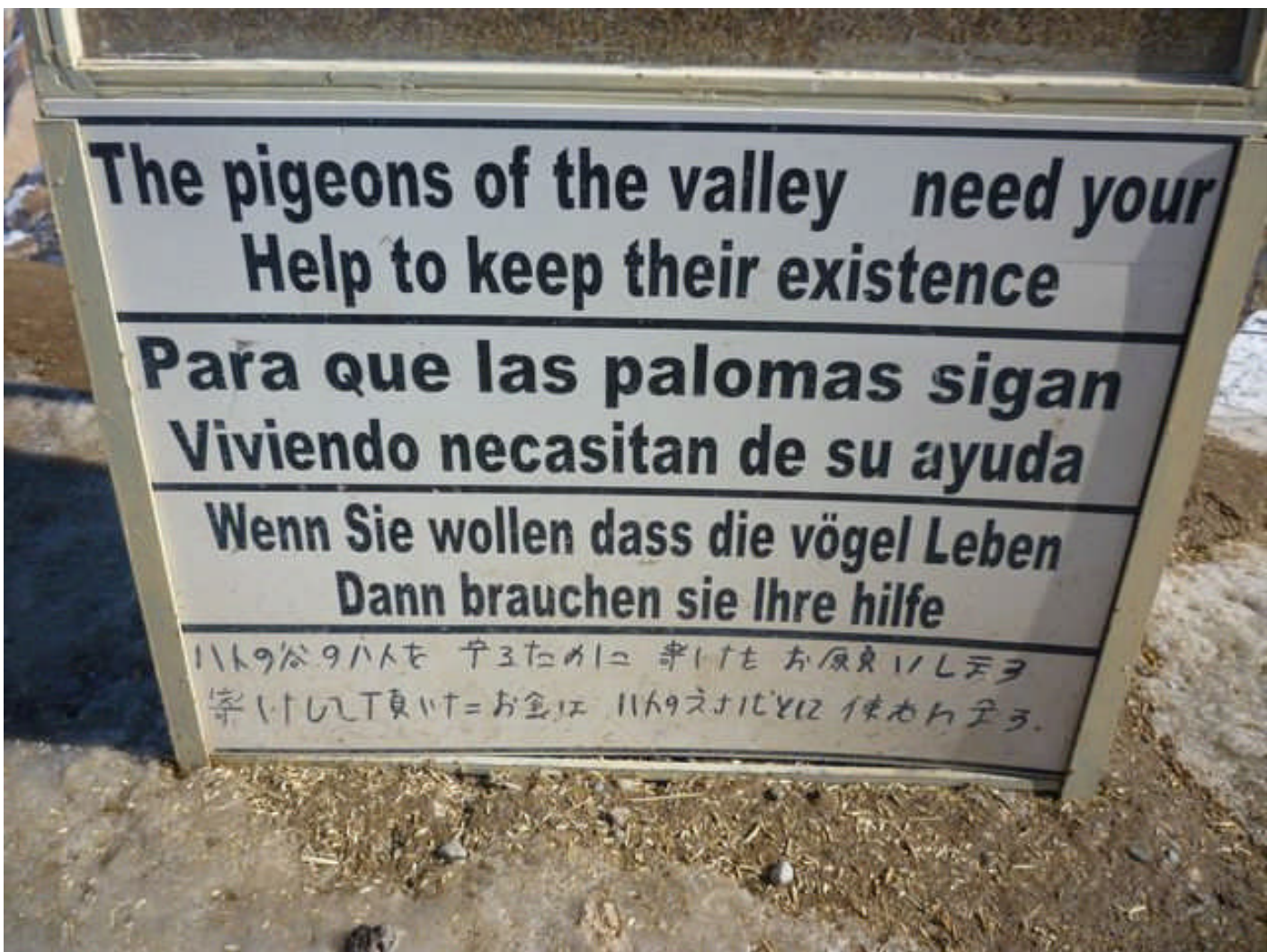




トルコ絨毯を織るご婦人



トルコの街の看板



ハトがたくさん住んでいる奇岩の谷がある。日本語で書いてある看板・・・

～トルコの首都アンカラ へ到着～

\*第7日～アンカラ泊～

## \*第8日\*

～アンカラ市内観光 ・アタチュルク廟 ・アンカラ城

～観光後 イスタンブール へ 途中、昼食キョフテ ～

- ・世界遺産 イスタンブール歴史地域観光 ・6本のミナレットが印象的なブルーモスク
- ・ビザンチン建築の傑作—アヤソフィア ・オスマン帝国の君主が居住した—トプカプ宮殿





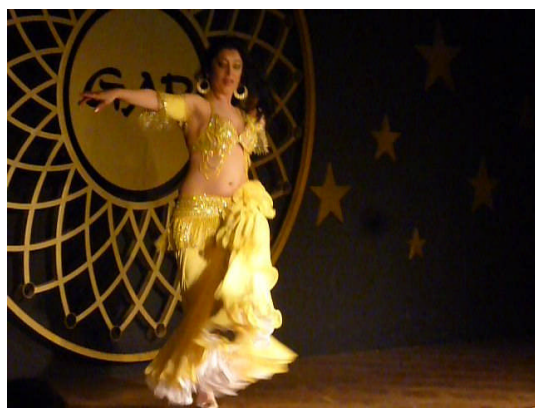
トプカプ宮殿



イスタンブールの港



30年ぶりにイスタンブールは大雪



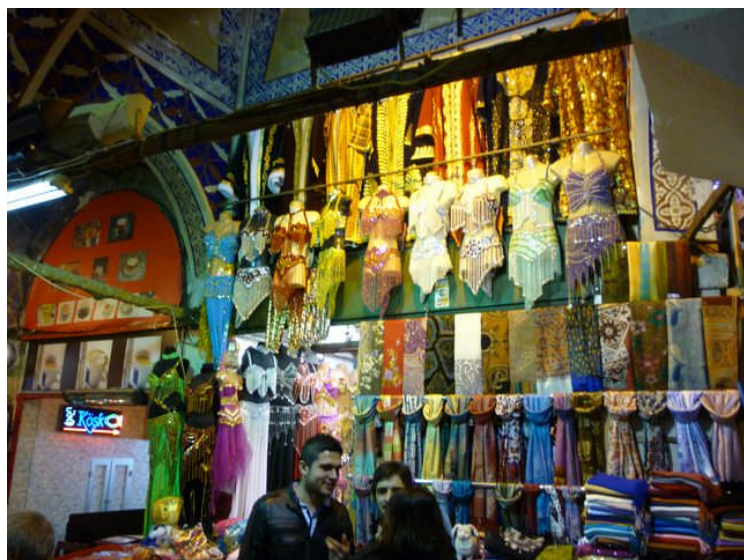
ベリーダンスNO.1



ベリーダンスNO.2



グランドバザール



グランドバザール



トプカプ宮殿で各国の若者と国際交流

\*第8日～イスタンブール泊～

## \*第9日\*

### 世界遺産 イスタンブール歴史地域観光

ボスフォラス海峡クルーズ と ルメリヒサル観光

大林組が橋を建設、大成建設などがトンネル工事中など日本の自動車、建築土木など多くの企業がトルコに進出し仕事をしている。日本人も5000人くらいがイスタンブールに住んでいる。





ボスフォラス海峡の大吊橋建設の橋



海峡沿いの町並み



小泉元首相宿泊の超豪華VIPホテル

～専用バスでイスタンブール空港へ

空路、エミレーツ航空にて ドバイ へ ～

\*第9日～機中泊～

## \*第10日\*

～ドバイ着 1時15分

ドバイ発3時00分～関西国際空港着16時50分

飛行時間 イスタンブール～ドバイ 4時間05分

ドバイ～関西国際空港 8時間50分

時差 トルコ/日本 +7時間

ドバイ/日本 +5時間



飛行機からの関西国際空港周辺



関西国際空港 格安機 peach



関空へのモノレール

ということで無事日本に帰ってきました。トルコの食事はおいしい方ですが、日本の食生活は世界一です。水が3トルコリラ、1ユーロ、1.5ドル トイレが1トルコリラ、0.5ユーロ、50セント、まくら銭が1ユーロ、1ドル、1トルコリラ やはり水道の水が飲める、レストランでも水のおかわり無料 トイレはどこでも無料、まくら銭はいらない。こんな国で生活しているのは幸せです。日本での生活レベルは非常に高いと外国に旅行するとよくわかる。日本のホテルのテレビは全てデジタルに交換されている。トルコでは高級ホテルはデジタルに交換しているが、安いホテルはアナログTVにチューナーをつけて変換している。観光案内人のカーディルさんのお父さんはトルコ人でお母さんはブルガリア人で、彼の妻は日本人だった。トルコ語と日本語とスペイン語が話せるという。日本語は訛りもなく流暢だった。金とひまができれば自転車で日本縦断をするのが夢だという親日家である。トルコ人は日本人に本当に親切に接してくれる。トルコは暖かい所という印象を持っていたが、今年は十数年ぶりの大雪で、ヨーロッパは大寒波でイギリスのヒースロー空港の閉鎖やドナウ川の凍結など30人も寒波による死者が出た。それにつけても、旅行者は日本人、韓国人、中国人、が主流であった。外から日本を見ると日本人の生活レベルは平均して他国に比べて高いと感じる。日本人は働き蜂、ヨーロッパ人は遊び蜂、女王蜂は1%だけである。